白山市立博物館博遊会だより

白山博遊

－ 目 次 －

1 白山信仰講座
2 研修旅行
3 春のぶらり散策
4 長月コンサート
5 秋のぶらり散策・晩秋のぶらり散策
6 令和５年度事業計画
7 展示等ボランティア

第１１号　令和５年３月３１日発行／白山市立博物館友の会（博遊会）

事務局　白山市立博物館内　〒924-0871　石川県白山市西新町 168-1　☎ 076(275)8922

○前期講座　白山信仰「地域の人々から見た白山信仰」４月１６日千代女の里俳句館 小林忠雄 先生（加能民俗の会々長）

庶民に溶け込んだ白山信仰の身近な例として、東三番町の「延命地蔵」の話から、白山は水と農業、航海の神として信仰を集め、平安時代後期になると素朴な自然崇拝の山から、仏教色に彩られた修験の霊場へと変化し禅定道が開かれ馬場を拠点とした普及活動が白山信仰を全国に広めました。今も、各地の祭礼に白山修験道の痕跡が残っています。また、「生まれ清まる」の儀礼としての白山参りの行事や竜神=水神と目され、季節的農業行事や土蔵の「鏝絵」等にも反映されている事も紹介されました。白山神社は全国に分布 2716 社で、最多は岐阜県 525 社、福井 421 社、新潟 232 社、愛知 220 社、石川は 5 番目 156 社です。

○後期講座　白山信仰　「白山曼荼羅の世界」　小阪 大先生(市学芸員)　７月１６日　千代女の里俳句館

「絹本著色白山曼荼羅図」
能美ふるさとミュージアム 提供

雪に覆われた白山は崇高にして気高く優美であるその姿に畏敬を感じ古代より仰ぎ見・祈りを捧げていた。やがて神が鎮座する霊峰白山に参詣する様になり、山頂や登拝の道筋（禅定道）の様子を解説する「白山曼荼羅」という絵図が寛政元年に描かれ火山特有の地形や噴火の痕跡（酒殿岩・龍頭岩）、伝説の残る石の塚や岩や墳泉塔等ジオとヒトの繋がりが垣間見られて描かれ、御師が絵解きを行ない江戸城で開設した逸話も残っています。加賀禅定道を行くと社祠や室堂などの跡が残り、嘗ての名所旧跡図でも有る「白山曼荼羅写」が一里野温泉センター天領に展示されています。

白山市立博物館友の会（博遊会）に参加しませんか

博遊会では年２回の講座（研修会）、研修旅行１回・ぶらり散策３回の年４回の小旅行と、年１回の音楽会（コンサート）と懇親会が有ります。

概ね、２か月に１回のペースで開催され、皆で楽しく無理なく参加されています。ご夫婦で参加され共に学びに豊かさを貰い共通の話題が育まれて楽しい会話も生まれます。

○博遊会研修旅行

５月２０日（金）「越前小浜方面」

小浜八ヵ寺の中から小浜を代表する二カ寺巡り。東大寺２月堂のお水取りのお水を送る若狭神宮寺（東大寺お水取り関連）と羽賀寺（十一面観音・国重文）の後は、福井県立若狭歴史博物館を見学。昼食は、若狭フィッシャーマンズワーフ内の「海幸苑」で、小浜湾で採れ立ての魚貝類を美味しく頂きました。若狭「神宮寺」は「東大寺２月堂のお水取りでお水送り」が行われる神仏混交のお寺、東大寺とは神代の時代から歴史親交が有り廃仏の毀釈以前の神仏習合時代の信仰と祭事の話を伺い、希薄になった現代的信仰の「形式的な信仰心」を話され嘆いていた。「羽賀寺」では天台宗と真言宗、白山神社との関わりを学び宗教の変遷を伺い知る事が出来ました。「福井県立若狭歴史博物館」は新しく若狭地方の歴史と文化、京都との繋がり等素晴らしい建物と展示表現がされていました。小浜の町は歴史と風情が有り個人的にも、神社仏閣と歴史と美味しい食を求めて、また訪れてみたい町です。

○春のぶらり散策　６月１０日（金）

「阿岸本誓寺と黒島天領北前船資料館・門前總持寺祖院」

能登の名刹「阿岸本誓寺」では十二間四面の総茅葺き本堂の寂びさびとした佇まいに圧倒されました。

次に、「伝統的建造物保存地区」に指定されている黒島地区に入りました。釉薬瓦の格子窓下見板張の廊下や土蔵の要素が街並みに統一感をもたらしていました。

能登に点在する「天領」幕府領地の村では経済力を蓄える海運業が多数発祥し、中でも最大の「角海家住宅」屋内の各部屋部屋と二つの土蔵を見学。「天領北前船資料館」では、神社の祭礼で使用する華麗な山車や北前船の活躍を示す資料千石船の船道具等多くの資料が展示されていました。

昼は能登の新鮮な魚貝を美味しく頂き、その後、今から七百年前に創建された「曹洞宗大本山總持寺祖院」を訪れました。今なお山水古木と調和した風光明媚で幽玄な格調高い様は、曹洞宗大本山の堂々とした風格を漂わせ、一大聖地として現在に至っています。

○長月コンサート　９月１７日(土)１１時～

「懐かしきメロディーと珠玉の名曲を」～人生の旅に安らぎのひとときを～と題して、**シェアリング・アンブレラ五重奏楽団**が白山市立博物館階段ホールで演奏会を行いました。

白山市民の歌で始まり、チャイコフスキーメドレー、ハンガリア舞曲第５番、懐かしのアニメメドレーの他９曲を演奏して頂きました。

参加された皆さんは、新型コロナの３年間の閉塞した期間を思い起こしその中でも心の安らぎを求め、穏やかで心豊かな楽しい時間を過せた事を大変喜んでおられました。

〇秋のぶらり散策　　１０月２０日（木）　「黒部峡谷での電源開発の遺構を学ぶ」

黒部川電気記念館と黒部渓谷鉄道の見学を通じて黒部第四ダム建設時の辛苦の歴史を知りました。「作業員・建設資材の運搬」の為、トロッコ鉄道軌道・道路・隧道・トンネル（黒部の太陽）等の建設作業での命を懸けた過酷で困難な作業の危うさを感じました。

欅平で下車し、欅平ビジターセンターを見学。黒部渓谷の樹木や渓谷に住む鳥類、獣類、魚類の展示や昔の住民の生活の様子が少なからず展示されていました。

秋の紅葉が半ば進んだ山々の真中のビジターセンター近辺で冷たい風を避け、昼食の弁当を頂きました。欅平駅を出発し宇奈月駅前の黒部川電気記念館を見学。

宇奈月道の駅で、展示物の見学と地域の物産館で向いの地ビール館の地ビール等をお土産に帰宅しました。

〇晩秋のぶらり散策　１１月９日（水）

天徳院（珠姫の寺）・県立図書館
・国立工芸館・兼六園

「身近過ぎて行き辛い金沢の町を訪問」

天徳院（珠姫の寺）は、加賀藩第三代藩主前田利常公の正室珠の菩提寺です。

姫は亡き利家の妻まつと人質交換により３歳で加賀の国へ、１４歳で利常と結婚、前田家と徳川家の大切な楔となられ心から尽くされた事を「からくり人形劇場」タイムスリップ劇で知る事が出来ました。

県立図書館は円筒状のケーキを４等分した様に４階まであり、本棚に囲まれてゆったりと椅子に座って本と対話できるよう設計されており、数多くの人が訪れる素晴らしい図書館です。また、国立工芸館・兼六園は近くにありながら中々行けない、近くて遠い寄る事が出来ない場所。初めての人や久しぶりの人で各名所をぶらり散策出来、心地よい一日でした。

長月コンサート

◆事業協力

博遊会では白山市立博物館・千代女の里俳句館・中川一政記念美術館の三館の実施事業時の作業協力、展示・講座などの開催案内での参加協力等が有ります。

◆希望調査

博遊会では事業実施中に年数回会員からアンケートを取り、次年度の事業計画立案時にその内容が反映されます。

◆会員特典

博遊会会員は白山市立博物館・千代女の里俳句館・中川一政記念美術館の特別展を除き**入館無料。**

☆年会費…会員 2,000 円・家族会員 1,000 円

◎令和５年度の事業計画（予定）

①総会・講演会
演題「白山曼荼羅の世界」
期日　４月１５日(土)午前 10 時～
場所　千代女の里俳句館　研修室
講師　小阪学芸員
受講料　会員無料　一般 500 円

②研修旅行「越前三方五湖方面」
若狭国吉城歴史資料館･福井県年縞博物館・三方五湖レインボーライン
期日　５月１７日(水)　詳細未定
参加費　4,000 円程度
定員　２０名程　講師　施設職員等

③春のぶらり散策　「越中五箇山」
相倉合掌集落・国重文村上家こきりこ見学・民謡資料館・菅沼合掌集落
期日　６月３０日(金)　詳細未定
参加費　4,000 円程度
定員　２０名程　講師　施設職員等

④夏の講座
演題　未定
期日　７月１５日(土)午前 10 時～
場所　千代女の里俳句館　研修室
講師　村上学芸員
受講料　会員無料　一般 500 円

⑤長月コンサート　ナイトミュージアム
（３重奏または４重奏）
期日　９月９日(土)　開場　午後６時～　開演　午後７時～
場所　市立博物館　階段ホール
出演　未定
入館料 200 円が必要（会員は会員証提示）

⑥秋のぶらり散策「市内博物館等特別展見学・参加」一向一揆歴史館・鶴来うらら館・ふるさと館・石川ルーツ交流館
期日　１０月１８日(水)　詳細未定
参加費　3,000 円程度
定員　２０名程　講師　施設職員等

⑦晩秋のぶらり散策「津幡と南砺市方面」
津幡ふるさと歴史館・倶利伽羅不動尊・井波八日市通・井波別院瑞泉寺
期日　１１月２９日(水)　詳細未定
参加費　3,000 円程度
定員　２０名程　講師　施設職員等

⑧令和５年度新年のつどい
令和６年２月中旬頃

※各プログラムにつきましては、随時申し込みを受け付けています。（ぶらり散策は人気のためお早目にお申込みください♪）

参加しよう博遊会ボランティア　　ー展示協力ボランティアー

博物館や千代女の里俳句館などの特別展や展示替えに協力するボランティアに参加してみませんか。学芸員の方々のご指導により、展示協力するのは色々な工夫やバランスを考慮する等とても楽しいものです。ぜひご参加ください。（施設の依頼で実施）

問い合わせ・申し込みはこちらまで
白山市立博物館友の会（博遊会）
白山市立博物館内博遊会事務局
住　所　白山市西新町 168 番地 1
電話番号 076（276）8922